

東日本大震災八周年における福知山市長コメント

平成23年3月11日、東北地方を中心に未曾有の被害をもたらした東日本大震災が発生してから、本日で8年を迎えます。

この大震災により、津波等によって極めて多くの尊い命が失われました。亡くなられた方々の無念の思いと、ご遺族の深い悲しみに思いをいたすと哀惜の念に堪えません。

震災により犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、心から哀悼の意を表します。

現在も被災地では復興活動が続けられていますが、震災から8年が経過してもなお、仮設住宅で生活されている方、県外避難を余儀なくされ、故郷にいまだ帰ることができない方が多くおられます。

福知山市におきましても、南海トラフ地震が今後30年以内に80%の確率で発生する可能性があり、少なからず影響があるとされています。

市民の皆様には、いつ・どこで発生するかわからない災害に対し、日頃からの備えと、地域での自主防災活動に引き続き取り組んでいただきますようお願いいたしますとともに、東日本大震災という未曾有の大災害を今一度思い出しいただき、被災者の方々の思いに寄り添っていただきたいと思えます。

平成31年3月11日

福知山市長 大橋 一夫